

# 優良枝物安定生産技術確立試験

## 現 状

- シキミ：仏花として安定した需要があり、栽培面積・栽培者とも最多
- ユーカリ、ピットスポラム、ビブルナム・ティナス：花き研が優良枝物として紹介し産地化



ピットスポラム



ビブルナム・ティナス

2017年度 枝物類の生産状況（農産園芸課）

品 目（略名）	面積 (ha)	生産額 (千円)
シキミ	123.6	163,885
ユーカリ	10.7	64,336
ピットスポラム (ピット)	1.9	10,772
ビブルナム・ティナス (ビブル)	3.9	6,021
その他枝物	26.3	172,478

## 現状の問題点

- シキミ：形質がばらつき生産性が不安定
- ユーカリ：挿し木活着率が低く種苗の安定供給が難しい  
：形質がばらつき生産性が不安定
- ピット：挿し木活着率が低く種苗の安定供給が難しい
- ビブル：形質がばらつき生産性が不安定  
：種子の発芽率が悪い
- 経営安定のための新規枝物品目が必要
- 新たに導入する品目の選定が難しい

## 研究課題

- ①増殖技術の改善
- ②- 1 採穂用の優良個体の収集・選抜
- ②- 2 発芽条件の検討
- ③新規枝物品目の選定と栽培技術の確立
- ④現地実証と栽培マニュアル・検索システムの作成

## 期待される効果

- ・ 面積拡大と高品質化による県内枝物産地の発展・所得の向上
- ・ 遊休農地や耕作放棄地の利活用
- ・ 労働負担の軽減による新規生産者の定着